

# 区長あいさつ

文京区長 **成澤廣修**



終戦から78年が経過し、戦争を知る世代が少なくなり、私たちから戦争に関する記憶が薄れつつある中、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響で世界情勢の不安定さが増し、区民の平和への関心は高まっているといえます。

文京区は、文京区平和宣言（昭和54年12月7日）及び文京区非核平和都市宣言（昭和58年7月13日）のもと、平和の尊さを考え、区民の平和意識の高揚を図ることを目的として、様々な平和事業を実施してきました。

文京区非核平和都市宣言40周年を迎えた本年は、文京区として初めて被爆地への派遣事業を実施し、意欲をもった12名の中学生を広島に派遣しました。

広島での平和学習では、平和記念資料館の見学など精力的に活動を行い、被爆の惨状が残る建築物などの資料、原爆投下当時の広島市民の苦勞、平和記念式典への参列、広島や長崎の子供たちの平和に対する意識など、多くのことを学びました。

参加した中学生は、独自に事前学習を行うなど高い意欲をもって取り組んでおり、今回の広島派遣での貴重な経験は、大きな財産になったと確信しています。

今後は、「初代平和特派員」として、平和の大切さや原爆被害の悲惨さを多くの方々に伝え拡げていただきたいと思います。

また、本報告書を通して、平和特派員の活動を多くの方に知っていただくとともに、改めて平和について考える機会として、参加者だけにとどまらず、お読みいただいた方の平和に対する理解が一層深まることを期待しています。

結びに、本事業を実施するに当たり、ご協力いただきました全ての皆様に心より感謝申し上げます。